

# なら・01



トンポの話題・設立情報あれこれ、心ふれあうウリトネ(ご近所)をめざして!

2012. Vol. 9

## 「アドン教室・ナ～らのハッキョ」

### 絶賛開校中!



「ソンセンニム! アンニョンハシムニカ!」

毎週土曜日、奈良ハッキョには元気な挨拶の声が響き渡る。午後3時になると日本学校に通うウリアイ(在日コリアンの子ども)も、大阪の朝鮮学校に通うウリアイも、榎原、桜井、天理、そして奈良市から元気に奈良朝鮮学園に集まります。電車に乗ってくるアイもいれば、アボジ、オモニ、ハラボジ、ハルモニに連れられて、または地域の総聯支部のボランティアによる送迎車で来るウリアイ達もいます。朝鮮・韓国・日本・ダブル…といういろんな国

籍にわたって参加者がいます。みんな同じ朝鮮半島にルーツをもつ在日コリアンの4世・5世たちなのです。※もちろん純粋な日本のアイ達も参加OKです!

2008年3月に休校した奈良ハッキョに、いま新たな芽が出てきました。明るい未来へ向けての一筋の光が差し込みました。

学校法人奈良朝鮮学園が運営するアドン教室「ナ～らのハッキョ」は、オリニクラス(幼児対象)とアドンクラス(児童対象)に分かれ、『ウリマルと英語のシャワーをいっぱいあびて遊ぼうよ!』をコンセプトに会話の勉強だけではなく民俗的な遊び、民族楽器の演奏などを学べる3ヶ月間のコース。9月1日から始まった授業に現在18人の受講生徒が楽しく学んでいます。



子どもたちのウリマルと英語を教える担当先生たちは、毎回入念に授業の準備をして子どもたちを迎えてくれます。「子どもたちが学ぶ意欲がすごいですよ。当初は会話だけを教えようとしたんですが、子供たちの『読みたい』という意欲が強く、そして、文字書きもするようになりましたから…」とウリマル(朝鮮語)授業担当の金明恵先生は準備に力が入ります。

金明恵先生(50歳)は大阪で有名な朝鮮語の先生で、初級部、中級部のみならず公立小学校の民族学級の講師としての経験も抱負。子どもたちの心をしっかりとつかみ教えてくれる超ベテラン先生で講師陣をリードしています。

英語のエリック先生(39歳)はケニア出身でナイロビ大学卒業後、ケニア航空会社、トヨタに勤めキッズワールドで英語教師もした経験豊富な先生。日本語検定2級(習熟レベル)でコミュニケーションも安心なネイティブな英会話先生です。

そして、今年の春、関西外国語大学を卒業した徐綾乃先生は大阪の旭陽中学校、西三国小学校で時間帯講師として民族学級の講師をしています。

3人の担当先生を校長の林秀蘭先生がまとめます。林秀蘭先生は皆さんよくご存知の、元奈良朝鮮初中級学校教務主任です。



地域同胞や日本の皆さんの大きな関心が集まる、話題のアドン教室「ナ～らのハッキョ」。夫明浩さんは「民族教育の灯を消してはいけない」と子ども2名をアドン教室に通わせています。奈良朝鮮学園の金政基理事長は「アドン教室の運営と経験を礎とし、地域に着実に根をはった中でウリハッキョの新たなステップに向け、本格的な活動に取り組んでいきます!」と今後の展望について熱く語っていました。

## 「アドン教室・ナ～らのハッキョ」開校式！

8月25日（土）午後、ウリハッキョにたくさんのオニが集まりました。待ちに待った児童教室「ナ～らのハッキョ」開校式。

オニ二人たちは集合した時からそわそわと落ち着かない様子。ウリクル（朝鮮文字）で書かれた名札を着け、ウリハッキョ2階の講堂に上がると、そこにはたくさんのウリトンボが紙吹雪と拍手で迎えてくれました。子どもたちの顔からは満面の笑み。入場が終わると一人一人名前を呼ばれました。元気よく返事をしたオニ！少し恥ずかしくてもじもじしてしまったオニ！でも全員が笑顔いっぱい！そして、林秀園先生が開校にあたり挨拶をし、講師の紹介が行われました。



オニ二人たちはいろんなソンセンニに興味津々の様子。

開校式には東大阪朝鮮中級学校民族楽器部や口演部のオニも駆けつけてくれました。歓迎公演や紙芝居を観覧し、記念のプレゼントまでもらったオニ二人たちは大喜び。これから仲良く楽しく、そして元気よく学んでくれることでしょう。

この日はオニ13名、日本の教職員先生方を含むハッキョ支援ネットワーク・ならのメンバー他16名をはじめ、朝鮮大学校の学生や保護者、スタッフなど70名が参加しました。

また、この日のために朝鮮大学校の学生たちがハッキョに寝泊まりし、生徒の募集活動から開校式の準備に至るまで全力を尽くしてくれました。その活動に参加した朝鮮大学校の辺世蓮トムの感想を掲載します（一部抜粋）。

「今回8月20日から7日間にかけて、アドン教室《ナ～らのハッキョ》の動員事業、準備事業に、朝鮮大学生として参加させていただきました。奈良県同胞たちのなごんで民族教育を推進させていくという熱い気持ちに触れ、同じ大阪朝高学区制の人間として、朝鮮大学生として、自分にながでいいのか考え、動いた7日間でした。開校式当日には、想像以上のオニ達、同胞達が集まり、嬉しく思うと同時に、言葉では表せないやがいを感していました。」

この間私が最も感じたことは『ハッキョを無くしてはいけない。』ということです。私はこれからも朝鮮大学校でもっとたくさん学び、地域同胞社会のため一つでも貢献できるよう、がんばっていきたいと思います。奈良トンボヨロブ、たくさんの援助コマッスンミダ！」

## ハッキョ支援ネットワーク・なら学習会/交流会

「ナ～らのハッキョ開校式」が行われた日、ハッキョ支援ネットワーク・なら主催で学習会と交流会が開催されました。

学習会ではまず邵哲珍委員長が「民族教育の発端と必要性、その経過」について講義し、その内容をさらに詳しいイメージが思い描けるようにと映画「朝鮮の子」を観賞しました。

次に奈良朝鮮学園金政基理事長が奈良県における民族教育の現状と今後の展望を説明し、より一層のハッキョ支援を呼びかけ学習会を締めくくりました。

そして、場所を講堂から運動場に移した交流会では、焼肉に舌鼓をうちながら学習会での内容をより深めた話などをし、今後のハッキョ支援についてたくさんの意見が交わされました。

子どもたちが安心してウリハッキョに通うためにはたくさんの方の様々な形での支援が必要です。より一層ハッキョ支援ネットワーク・ならの活動にご関心をお寄せください。

### 祖国訪問の感想①

#### 《ピョンヤン訪問のあとに》

ピョンヤン市内を見渡すチュチェ塔の展望台で『ピョンヤンの人口は2百万。朝鮮戦争のときアメリカは市内に2百万トンの爆弾を落とした。市民1人に1トンの爆弾を浴びさせたです。』見事に立ち直った市街を誇らしげに説明するガイドの言葉が耳に残っている。1人に1トンの爆弾を浴びせると言う悪意はどこから来るのだらう。

私が訪朝の体験を、普通の、それなりの都市景観、見聞した生活風景を話すと、『それはピョンヤンだけではないでしょうか？』『農村では毎日の生活も維持できず餓死に瀕している人が多いのではないのでしょうか？』『良いところばかり見せられたのではないのでしょうか？』と言う反問が必ず返ってくるのだった。日本では朝鮮に触れる時、全身にまず持って悪意を発生させるようである。ホテルの周辺を散歩した朝の静かな閑かな風情は心を癒めるものだった。世界最大のマスゲーム「アリラン」はさすがに迫力があつた。なかでも、訪問したルンラ小学校での生徒たちの歌と踊りと、最後に私たちと手をとり合って踊った時は、子供たちの三十年先、五十年先の未来に手をふれる思いで、私の孫もこの人たちと一緒に手をとり合って踊る、そんな空想に浸る事ができ嬉しかった。一千ヘクタールというりんご園も永い将来にわたる実りを予感させ心に響く風景だった。私には、朝鮮はある種のまぶしさを持つ素晴らしい国のように思える。

平穏な1週間の旅行だったが、その間もアメリカと韓国は分断された海上で激しい共同軍軍演習をしているのだった。何のために？



# 「ナへのハッキョの納涼フェスタ」



味深いものです。関係者が心を一つにし、必ず成功させましょう。」と熱く語りました。全員が一丸となり協力して誘いあった結果330人が集まりました。

当日、舞台では、ウリハッキョ元教員の章一良先生と卒業生高成柱さんが、理科の実験を行い、会場内は、子供の笑い声が響き渡りました。

引き続き、金剛山歌劇団の崔榮徳さん、金成哲さんの演奏、奈良県卒業生の舞踊手の文淑礼さんの独舞の演目と続き、会場はさらにヒートアップ！拍手喝



かしてくれました。納涼フェスタ最後を飾るのはおなじみの歌舞団民謡によるチュンパン！！踊る人々の笑顔を見て、「今年も納涼フェスタをして本当に良かった。このひとときがずっと続けば良いのに・・・」と。

今年は、入場口、広告看板、屋台パリエーション等、新たな試みを行いました。その中で不熟な面が多々あった事をお詫びします。

「納涼フェスタに参加&協力して頂いた、みなさん！本当に、本当にコマッスンニダ。」（県青商会一

## 祖国訪問の感想②

《訪朝団の一員として》

私は初めての訪朝でした。マスコミ等の情報の知識しかなく出発の日迄は不安の毎日でしたが、ピョンヤン空港に着いた途端安薄らぎました。マスコミの報道とは随分違いがある事が分かったからです。ピョンヤン市内には奈良では見かけない立派なビルが建ち並び、道には多くの人々の歩く姿（特に若い女性達はスカートにヒール）と労働者達のはつらつとした姿、早朝ホテル周辺での散歩時、草引きや街中を清掃されている市民の姿にとても感じました。



見学した研究所や学校の設備の充実には驚きの連続でした。中でもルンラ小学校訪問での幼ない子供達の歌や踊り、楽器の演奏による歓迎は本当に素晴らしいかったです。子供たちの生き生きとした姿に「いいね！」等はないだろうと思いました。地上から100m下の地下鉄の重厚さと芸術的にも驚き、青年節を祝う人々の練習に糸乱れる事なく頑張っている子供達の姿に拍手を送りました。今年で最後になる大サゲーム『アリラン』公演観覧はいつまでも心に残る最高に幸せなひと時でした。

最後に、食事も美味しく奈良県訪朝団の一員としてピョンヤンだけの見学でしたが参加できた事に感謝しています。国交が正常化され、皆が自由に行き来できる日が一日も早く実現される事を願ってやみません。

岡本洋子



さいを受けました。こんな豪華キャストは、奈良納涼フェスタならではの…もちろん会場は参加者全員が一体となり大いに盛り上がりました。



青商会OB、女性同盟、コグマ会の役員やスタッフは屋台を運営し、朝青員達は、会場整理と焼肉の準備をする等役員スタッフが裏方の仕事や力仕事を進んでやってくれました。また、納涼フェスタをするという事を聞きつけた、トクモトグループ社員のみなさんは、当日の準備からはじまり、屋台販売（やきそば、いか焼き）、最後の片付けまで全面協

力をいただきました。納涼フェスタ最後を飾るのはおなじみの歌舞団民謡によるチュンパン！！踊る人々の笑顔を見て、「今年も納涼フェスタをして本当に良かった。このひとときがずっと続けば良いのに・・・」と。

## 祖国訪問の感想③

《驚きの変貌 朝鮮》

今回、私にとっては10年ぶりのピョンヤンでした。まず驚いたのは自動車の数が格段に増えていたこと。以前は乗用車など時々すれ違う程度だったのに、今では朝夕に渋滞することもあるのだとか。それに伴って交差点にはLED式の信号機が多数設置されていました。名物(?)の女性交通整理員さんがそのうち見られなくなってしまうのかと思うと少し寂しいのです…

また、携帯電話の普及が目ざましく、街中いたるところで通話する姿を見かけるばかりか、メールを打ちながら歩く姿の悪い(笑)学生までいてその「普通さ」に驚きます。さらにタクシーの窓や商店のレジには「電子決済カード」の表示、地下鉄の改札もカードタッチ式に変わっており、技術水準の向上ぶりは目を見張るものがありました。そのほか、街角にある売店で思い思いに軽食やアイスなどを楽しむ人々、水族館でデジカメを出して記念写真を撮るカップル、さらに女性の服装やヘアスタイルも以前よりずっとオシャレで可愛くなっており、私の頭の中にあつたピョンヤンとの違いには戸惑うばかり。人々に笑顔が多く、街全体が明るいイメージになっていたのがとても印象的でした。



国レベルではまだいろいろと課題が多い現状ですが、一般の人々の普段の姿には親近感さえ、やはり日本とは朝近お会い仲良くできるに違いないと確信する旅でした。

坂本隆司

## ナ～らのハッキョ開校に向けた私たちに力強い激励 天理分会トンポ、藤本県議会議員を囲む懇親会が大盛況!

7月20日、天理分会で奈良ハッキョ大同窓イベントに来賓として挨拶された天理選出県議員の藤本昭広氏をお招きし、力強い激励の挨拶に謝意を表し、天理分会が奈良ハッキョ再開に向けて一層奮闘する契機にしようと天理市内で懇親会を開催しました。懇親会には天理分会同胞16名を含む22名が参加し大盛況でした。

県下すべての地域分会より早く総会を開き新たな出発をした天理分会。その最初の取組みとして行われたこの懇親会は、日ごろから地域での国際交流と在日外国人の暮らしと権利について理解、支援下さる藤本議員へ感謝の意を込めて花束を贈呈しました。

藤本議員のあいさつに続き、和気あいあいとした雰囲気の中で自己紹介が行われ、美味しい料理に舌鼓をうちながら、今後とも地域レベルでの交流と親睦を一層深めようとする異口同音に語っていました。

藤本議員は「地域で互いに助け合いながら暮らすのが当たり前という気持ちで今まで長い間、在日朝鮮人の皆さんともやってきた。奈良ハッキョの再開に少しでも力になれるよう尽力します。」と語っていただきました。藤本先生、今後ともどうかよろしくお願いします! 天理分会在住同胞一同より…



## 金剛山歌劇団奈良県公演成功に向けて実行委員会第1回会議が開催されました。



9月11日、桜井市「ぶんさん」にて、10月31日に桜井市民会館で開催される金剛山歌劇団「ナ～らのハッキョ」チャリティー公演実行委員会 第1回会議が行われました。6年ぶりに開催される金剛山歌劇団奈良県公演は奈良県下での民族教育を守り発展させていくためのチャリティー公演として、初めて朝・日合同で実行委員会を組織し、日朝親善議員連盟所属の各県議会議員を始め奈良県下各団体の代表の方々11名、そして総連奈良県本部管下各支部、分会、傘下団体の代表11名、事務局5名で構成されました。会議では総連奈良県本部都督委員長の趣旨説明の後公演の形式、観客動員、チケット販売、広告募集、後援協賛の募集などの基本的な討議を行いました。

最後にこれからの活動のスケジュールを確認した後、日本側代表委員の日朝議連新谷統一会長や地元桜井市選出の和田県議員、朝鮮側代表委員の李達圭商工会会長の公演成功へ向けての決意表明に参加者が全員賛同し、会議は閉会しました。閉会後に行われた会食ではハッキョ支援ネットワーク・ならの浅川代表の乾杯の音頭の後、食事をしながら、歌劇団公演成功に向けての熱い討論が続ききました。

※実行委員会では公演成功に向けて県下同胞の皆さん、本誌読者の皆さんの大きなご協力を期待しております。ご家族、ご友人お誘いあわせの上 是非ともご観覧ください。

入場チケットは県下各支部、分会、県商工会、青商会、女性同盟、青年同盟、教育会が扱っています。又、協賛広告も募集しております。

詳しくは公演事務局まで TEL0742-22-7444 FAX0742-22-7466  
Eメール kagekidan\_nara@yahoo.co.jp

## 祖国訪問の感想④

### 《生き生きとした市民の表情を見て》

私は、3年前に続いて今回の訪朝で5回目になります。特に今年はキムイルソン主席生誕100周年でキムジョンウン第1書記の領導の下、強盛大国建設と人民生活が3年前とどう変わっているかの姿をうかがえればと思いつつ訪問しました。わけでも日本国内での共和国に対する悪意に満ちた敵対意識の中で真の姿を見てきた通りお話しよとの思いを抱いた訪朝でした。

5泊6日のわずかの間毎日感じたことは、老いも若きもその顔にハッソツサと充実感が溢れている様に思いました。公園や遊戯施設も増え屋は一生活命働き、夜家族連れで「イルカ館」でイルカショーを楽しむ姿に感動し、国内外の音楽情報を集結した「ハナ音楽情報センター」、「大同江果樹総合農場」の広大なりんご園、スポーツ養殖工場等々見学して驚く中、市民生活が向上し人々の顔がどの現場でも希望に輝いているように思われ、なるほどこれが強盛大国への一歩一歩の積み上げなのだと思ふに自分を納得させました。

今回の訪朝は、特に素晴らしいことのない生涯通しての訪朝であったと感謝しています。



藤原好雄

## 李明浩トンム大活躍! タイトルマッチ速報



(左が李明浩選手)

奈良朝鮮初級中学校28期卒業生・李明浩トンム(大阪帝学ジム)の試合が9月27日、フィリピン・セブ島でありました。

★東洋太平洋フライ級タイトルマッチ★  
対戦相手は、世界フライ級2位、東洋太平洋フライ級チャンピオン、ロッキー・フェンテス選手でした。

以下、ミョンホトンムのブログを紹介いたします。「試合が終わって今日、フィリピンから日本に帰ってきました。試合の結果は12ラウンド判定負けです。日本で応援、現地まで来て応援して下さい。皆さん本当に申し訳ない。勝ってチャンピオンベルトを見せたかったです。まだまだ僕は弱かったです。とりあえず、ゆっくり休みたいと思います。落ち着いたし又、いろいろ詳しく更新します。最後に負けはしましたが皆さんの応援がすごく力になりました。本当にありがとうございます。」

次の試合は10月27日にメキシコシティで、対戦相手は元WBC世界フライ級チャンピオン、現WBC世界フライ級シルバーチャンピオンのエドワルド・ソーサー選手。みんな李明浩トンムを応援しましょう!

## 2012・日朝友好親善奈良県訪朝団成功裏に!

8月22日から28日まで、日朝友好親善奈良県訪朝団(団長:藤原好雄先生)として団員5名(3名は初訪朝)と随行者2名の総勢7名で朝鮮民主主義人民共和国(以下、「共和国」)を訪問しました。※共和国到着は23日。

共和国訪問直後から団員は驚きと感激の連続でした。

共和国最高人民会議の洪善玉副議長が同席した歓迎宴に始まり、首都ピョンヤン市内の各所を見学し、交流しました。共和国への滞在は6日間。その期間中、朝鮮対外文化連絡協会のリハジン研究員とピョンヤン外国語大学教員のキムソクチョル先生が指導員兼通訳として、団員の要望を聞きながら便宜を図ってくださり、スムーズな行程を組んでくださいました。

今回の訪朝では、驚くほどの大変化を遂げている共和国の真の姿を見ることができ非常に有意義な時間を過ごすことができました。団員は心の奥深くまで今回の訪朝の記憶と感激を刻むことができたことでしょう。特に、帰国前日の万寿台議事堂で最高人民会議のヤンヒョンソプ副委員長から直接、藤原好雄団長に対し、長年にわたる日朝友好親善の功績を称え、共和国政府より国際親善勲章2級が授与されました。団員メンバーはみな、その共和国の配慮に再び驚き、感激しました。



訪朝団のメンバーの感想を掲載しています。

### 祖国訪問の感想⑤

#### 《やっとな実現した共和国の旅》

朝鮮女性と連帯する会の一員として多くを学びながら、今回初めての訪朝に胸をときめかせながら参加させて頂きました。空港に着いたときまず空気的美味さ、立派なビル群に広い道路、懸命に働き歩いている人々の活気ある姿を感じながらの旅でした。

朝の散歩から始まった親善訪問は、マンサデの丘をはじめいろんな所を巡りましたが特にルンラ小学校での可愛い子供達の歓迎には涙がとまらず。教室にはパソコンをはじめいろんな教材、資料が整備され個性のある教育に取り組まれ小地域に学校があり3世帯同居の家庭が多く地域と家庭で大切に育てられていることも感じました。又女性が結婚し子育てしながら働き続けられるように多様な保育制度とマンション内にご飯工場もあってうらやましく思いました。

街のあちこちで人々が散策され、芝生で弁当をひろげローラースケートを楽しんでいる子供たちと話もする事が出来ました。中でも青年節の人文学の練習と『アリラン公演』には圧倒されその余韻で夜も眠れませんでした。

私の連れ合いが国会権典室で親善勲章授与の荣誉にあぶかった事は生涯の宝物で感謝と責任の重さを感じています。温かいもてなしに感謝し、素晴らしい国づくりに励む共和国の姿を深く感じながらの6日間でした。

藤原智代



## トンポのお店紹介『すじ平 上本町店』

### ☆おすすめメニュー

- ・もつ鍋と和牛鉄板
- ・大阪名物「すじ肉」
- ・コリアンフード



所在地: 〒543-0001

大阪府大阪市天王寺区上本町6-3-31

うえほんまちハイハイタウン1F(南側)

アクセス: 近鉄大阪上本町駅より徒歩1分、

地下鉄谷町線谷町九丁目駅⑤番出口より徒歩1分

営業時間: ランチ 11:30~14:00(無料のデザート、コーヒー付)

ディナー 17:00~23:00

TEL: 06-6779-3698

### ■お店紹介

もつ鍋とすじ肉がとても美味しいと評判です。さらにスンドゥブチゲやチヂミ、チャブチェなどのコリアンフードも充実。本場の方も「マシッソヨ〜(美味しい)」とうなる味です!セットメニューもお一人様~宴会用まで幅広くご用意させていただいています。今人気のマッコリカクテルの種類も豊富!女性にも男性にも、いろんな年代の方に満足していただけたらと思います。

\*読者特典\*「《ナラニ》を見て来ました!」と伝えるとき「かめマッコリ」サービス(3名様以上で来店の方。2012年11月末まで)



## 祝！優勝《ワイルドキャッツ》

総聯北和支部ソフトボールクラブ  
《ワイルドキャッツ（監督 趙武鏞）》。  
※元「チョンリマ」ソフトボールチーム。



9月に開催された奈良市ソフトボール協会主催第3回会長杯争奪ソフトボール・トーナメント大会Bブロックに出場し見事《祝！優勝》しました。

ワイルドキャッツの前

身「チョンリマ」は奈良市Aリーグ迄登りつめた事もある強豪チームでした。事情により一時休止していましたが、去年から登録名をワイルドキャッツに改め、活動を再開しました。

そして、今回のトーナメント大会の優勝と栄冠を手に入れました。これからも活動をどんどんしていきますのでぜひ応援宜しくお願いします。只今部員募集中です。

（入会金無料！年会費1万円）。  
経験のある方、やってみたい方（同胞、日本の方問わず）是非下記までご連絡ください。  
連絡先：090-8576-2616（趙武鏞）

## ケシパン（掲示板）

- 10月28日（日）am10:00  
ハッキョ美化作業（場所：奈良朝鮮学園）  
10月31日（水）pm2:00、pm6:30  
金剛山歌劇団公演（場所：桜井市民会館）  
11月4日（日）am10:00  
オリニ秋フェスタ  
11月17日（土）pm3:00  
アドン教室ナ～らのハッキョ修了式  
11月23日（金）am10:00  
大阪朝高創立60周年記念式典・同胞大祝典  
12月2日（日）  
青商会総会  
12月9日（日）  
中和支部 送年会

## 金剛山歌劇団奈良県公演

「な～らのハッキョ」チャリティー舞踊ミュージカル

## 『春香伝』

10月31日（水）桜井市民会館

【昼公演】午後1:30開場2:00開演  
全席自由席 2,000円（当日券のみ）  
シニア（70才以上）1,000円  
高校生以下 無料

【夜公演】午後6:00開場6:30開演  
S席（指定席）5,000円（前売り4,500円）  
A席（指定席）3,500円（前売り3,000円）  
B席（自由席）2,500円（前売り2,000円）

## ★素敵な2つの特典★

①S席ご購入の方にはもれなく《歌劇団奈良公演オリジナルCD》をプレゼント！

②S席とA席ご購入し、ご観覧された方の中から抽選で30名様に『出演者と一緒に記念撮影ができる！』権をプレゼント。※当日抽選にて発表します。※撮影時間等詳細は当日お知らせします。



## 金剛保険（株）大阪支社

私たちは奈良県情報誌『ならに』を応援します。

## 損害保険取引会社

東京海上日動、あいおいニッセイ同和  
損保ジャパン、三井住友海上、日本興亜損保  
ゼネラル、AIU、セコム損保

## 生命保険取引会社

大同生命、メットライフアリコ、オリックス生命

〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-1-2  
TEL06(6972)7371 FAX06(6972)7377  
<http://www.kongouhoken.co.jp>

編集・発行/奈良県同胞生活相談総合センター  
〒630-8102 奈良市般若寺町316-1-101  
TEL 0742 (26) 5139  
FAX 0742 (22) 7466  
メール nara.oi2011@gmail.com

奈良トンボネット情報誌「ならに」

ご意見・ご感想お待ちしております。

## 編集後記

久しぶりの金剛山歌劇団の公演。楽しみです。毎年開催していたときはまた違った新鮮味が味わえます。ただ、最近はやインターネットの無料動画の発展ですぐにみることができても、ステージ生で観るのはまた違いませんか？なんでもインターネットで済む世の中の薄っぺらさからこの機会に少し脱却してみたい？実際に会って挨拶を交わすことから忘れかけているものが見つかるかも。